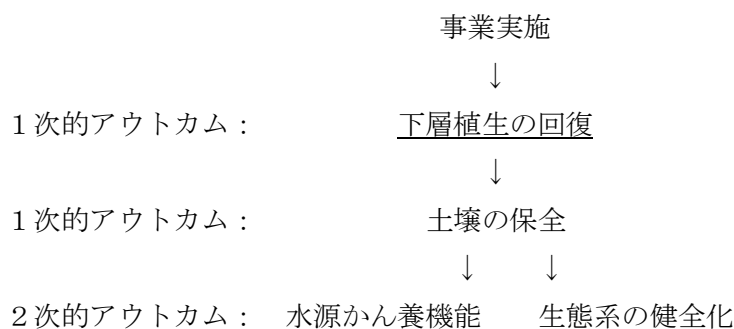


## 施策実施前後で変化がわかるデータについて

経済評価を行うにあたり、一般的には事業実施前後の差を確認し、その差分について評価をするものと考えられる。そこで事務局として現時点で施策実施前後の変化がわかるデータを森林再生課、自然環境保全センター、環境科学センターに確認したものは次のとおりである。

### 【森林関係】



#### ● 下層植生の回復

データ：植被率が高い森林の割合（中間評価報告書指標①P46,59）

中間評価報告書指標①のとおり、植被率 40%以上の地点の割合などの数値がある。

データの蓄積は第 1 期分、第 2 期分があり、第 3 期分は令和 3 年度末にそろそろ予定で活用可能。

#### ● 生態系の健全化

データ：森林生態系効果把握調査（中間評価報告書 P71~73）

第 2 期開始のため、第 2 期、第 3 期の 2 時点のデータがそろそろ。

調査結果：間伐による下層植生回復、下層植生回復によって一部の昆虫の種数増加等

#### ● 人工林現況調査

データ：手入れが行われている森林（人工林）の割合（中間評価報告書指標②P47,60,P75~77）

施策実施前（平成 15 年度）、第 1 期中（平成 21 年度）、第 2 期中（平成 27 年度）の調査結果があり、第 3 期（令和元年度、2 年度）においても調査を実施している。

### 【水質関係】

#### ● 河川の流域における動植物等調査

データ：相模川水系及び酒匂川水系の各 40 地点における

(i) 平均スコア値の経年変化（中間評価報告書 P13~14,79~83）

(ii) 多様性指数（H'）の経年変化（中間評価報告書 P84,85）

(iii) BOD の経年変化（中間評価報告書 P86,87）

(iv) 全窒素の経年変化（中間評価報告書 P88~90）

(v) 全リンの経年変化（中間評価報告書 P91~93）